

ウルグアイ経済報告（10月分）

【概況】

- 10月の消費者物価指数（対前年同月比）は、6.04%となり、3ヶ月連続でゆるやかに上昇しているものの、8ヶ月連続で政府のインフレ目標（3～7%）の枠内に入っている。前月に引き続き、アルコール飲料・タバコ及び教育以外の分野では、前年同月比で1桁台の増加に留まっている。
- 10月の対ドル為替レートは平均29.38ペソと、前月比1.63%のペソ安で、5ヶ月連続でペソ安傾向となり、2016年7月以来初めて28ペソ台を上回った。
- 10月の輸出額は、前年同月比で19.9%増と引き続き大幅な増加となった。また、2017年1月～10月の累計でも、前年同期比12.4%増と引き続き高い増加傾向を維持している。
- 10月の輸出額増には、輸出品第2位のセルロース（前年同月比43%増）、同第3位の乳製品（同26%増）、同第4位のコメ（同41%増）などの輸出品上位の輸出額が好調だったことが大きく影響した。また、輸出品第7位の木材（前年同月比127%増）や同第10位の大豆（同148%増）なども輸出額が大きく増加した。
- 10月の輸出額増のもう1つの要因として、自動車が挙げられる。2017年1月～10月の累積で、前年同期比155%増と大きく増加した。これは、ウルグアイ国内の工場における自動車組み立てラインの復旧や多目的車の生産が開始されたことによるもの。その90%以上がブラジル向け。
- 10月のフリーゾーンを除いた主要輸出先を見ると、輸出額が前年同月比68%増となった中国が輸出額全体の伸びを牽引した。ブラジルへの輸出については、乳製品が前年同月比53%減と大きく落ち込んだが、自動車が前年同月比約5倍となり、全体では前年同月比0.5%増となった。EUについては、最大の輸出品である牛肉が前年同月比28%減と落ち込んだ。また、ウルグアイ全体の輸出額に占める割合は4%と大きくないが、アルジェリアへの輸出額の伸びも寄与した。なお、アルジェリアへの輸出のほとんどは乳製品であり、2017年1月～10月の累積で同国はウルグアイの乳製品にとって第2位の輸出先となった。
- ウルグアイにとって最大の貿易相手国は中国だが、2001年の貿易額は225百万米ドルに過ぎなかった。その後、中国の経済成長及びその影響を受けたコモディティー価格の上昇というウルグアイにとっての好機に乗ずる形で貿易は拡大し、2016年までの10年間でウルグアイからの輸出は年平均22%、中国からの輸入については同11%増と大きく伸び、2016年の貿易額は3,373百万米ドルとなった。
- ウルグアイから中国への主要輸出品は、2006年には大豆（輸出額全体の38%）、羊毛（同31%）、皮革（同13%）などであったが、2016年には大豆（同34%）、牛肉（同27%）、セルロース（同25%）などとなっている。中国にとってもウルグアイは重要な食料・原料の輸入元となっており、冷凍牛肉は中国にとってウルグアイが世界第2位の輸入元となっているほか、大豆（同第4位）、羊毛（同第4位）、セルロース（同第8位）などが上位に入っている。
- 国際貿易センター（ITC）の試算によれば、ウルグアイは対中貿易額を増加させる潜在能力を秘めており、特に大豆、木材、乳製品、冷凍魚介類、ゴム、皮革などの貿易額を増加させる可能性が高いと指摘されている。

【トピック】

1 家畜衛生部会委員を含む専門家のウルグアイ訪問

24日付「エル・ Pais」紙は、日本の家畜衛生部会委員を含む専門家の来訪結果について報じた。同紙によれば、日本のミッションは肉用牛生産体系を確認するため、サン・ホセ県にある農場、フロリダ県の農牧水産省地方事務所、ドゥラスノ県にある日本資本の NH フーズが買収した BPU の食肉加工施設を訪問した。日本によるウルグアイでの家畜衛生調査ミッションが終わり、今後数週間で日本の専門家委員会が、収集した情報を分析し、ウルグアイ産骨なし熟成牛肉の輸入解禁に向けた長いプロセスがまた一步進むことになる。現在、日本への輸出が認められているのは単価が低い加熱処理牛肉であり、2000年にアルティガス県で口蹄疫が発生して以来、生鮮牛肉の輸出が禁止されている。

2 メルコスール・欧州自由貿易連合 (EFTA)・FTA

17日及び18日、第2回メルコスール・EFTA・FTA交渉がブエノス・アイレスで行われ、双方の関心事項の明確化及び短期間で協定署名を実現するための交渉方法が策定された。メルコスールとEFTAは11月末までに物品市場アクセスのリストを交換することで合意した。これは、物品に関するイニシャルオファー交換を2018年3月中に行うことを見越して行われる。なお、次回交渉は、2018年4月に予定されている。

3 ブラジルによるウルグアイ産乳製品の輸入制限措置

10日、マッジ伯農牧食糧供給大臣は、ウルグアイ産乳製品の輸入制限措置を発表した。同大臣は、同輸入規制の根拠として、2016年にウルグアイは大量の乳製品をブラジルに輸出しており、第三国から乳製品を輸入しそれをブラジルに輸出した再輸出の疑惑があるとし、対ブラジル輸出乳製品が全て自国産であることをウルグアイが証明するまで輸入ライセンスを制限すると述べた。11日には、ブラジルとの国境の町チュイで、ウルグアイ産乳製品を積んだトラック2台が伯への入国を止められ、それに対し、ウルグアイは伯産品を積載したトラック60~70台のウルグアイ入国を遅延させた。

4 コッセ工業エネルギー鉱業相のシリコンバレー視察

23日~26日、コッセ工業エネルギー鉱業相はウルグアイIT関連機関及びソフトウェア企業関係者を伴い、情報通信技術政策強化の一環としてシリコンバレーを訪れ、グーグル社、アップル社、シスコ社といったIT大手企業の幹部等と面会し、ウルグアイへの投資誘致を行った。また、シスコ社とはウルグアイ技術専門学校(UTU)教員への研修に関する協定に署名した。IT産業はウルグアイの成長産業の1つであり、国際電気通信連合(ITU)によるICT発展指標ランキング2017でウルグアイは南米第1位(世界第42位)と評価された。なお、同ランキング南米第2位はアルゼンチン、同第3位はチリであった。

5 観光

24日付「エル・オブセルバドール」紙は、2017年1~9月に海外からウルグアイを訪れた観光客数が289万人を超え、前年同期比21%増となった旨報じた。観光省によれば、観光客数第1位はアルゼンチン人であり、197万人がウルグアイを訪れ、前年同期比27.6%増となった。また、第2位はブラジル人であり、訪問者数は36万人、前年同期比21.7%増となった。これまで観光客数が多くなかったチリ人もウルグアイを多く訪れるようになっており、前年同期比32%増の5万人が訪れた。

主な経済指標

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費者物価指数(%)	6.46	5.58	5.31	5.24	5.45	5.75	6.04
失業率(%)	8.46	7.95	7.84	7.58	7.82	7.58	7.71
平均賃金指数(%)	9.16	9.32	9.36	9.73	9.60	9.51	9.80
対ドル為替(ペソ)(平均)	28.40	28.13	28.38	28.64	28.67	28.91	29.38
新車売上台数(台)	4,360	4,919	5,128	4,055	4,601	4,584	4,468

出所：国家統計院(INE)、ウルグアイ自動車販売協会(ACAU)

消費者物価指数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全体	6.46	5.58	5.31	5.24	5.45	5.75	6.04
食品・ノンアルコール飲料	3.50	1.14	0.09	0.12	0.68	2.10	2.62
アルコール飲料・タバコ	11.95	12.03	12.08	11.98	11.56	11.66	11.38
衣服・靴	5.97	5.35	5.02	4.68	4.37	3.85	2.85
住宅	8.74	8.47	8.43	8.25	8.19	8.21	8.39
家具・家庭用品	7.86	5.59	5.65	5.80	5.99	6.12	6.17
保健	8.68	8.49	8.61	8.42	8.90	8.85	8.80
運輸	4.10	4.10	4.55	4.79	5.46	5.75	6.97
通信	5.19	5.03	5.02	5.04	4.99	5.12	5.30
娯楽・文化	3.45	3.33	4.13	4.70	5.28	5.06	5.72
教育	11.29	11.13	11.02	11.22	10.90	10.88	10.92
レストラン・ホテル	9.11	9.22	8.80	8.54	8.42	7.59	7.29
その他の財・サービス	7.42	7.32	7.15	5.86	5.40	5.01	5.59

出所：国家統計院(INE)

貿易統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出	額(百万ドル)	726	800	947	716	723	836	667
	前年同月比(%)	25.9	-3.7	27.6	1.1	5.5	32.1	19.9
	1月からの累計 (百万ドル)	2,318	3,067	3,987	4,616	5,299	6,082	6,642
	前年同期比(%)	14.2	8.8	13.1	10.0	9.8	12.2	12.4
輸入	額(百万ドル)	547	627	600	579	676	660	677
	前年同月比(%)	-29.7	-0.4	8.2	9.6	-3.7	5.4	11.2
	1月からの累計 (百万ドル)	2,285	2,911	3,511	4,090	4,766	5,424	6,101
	前年同期比(%)	-6.4	-5.2	-3.1	-1.5	-1.8	-1.0	0.2

出所：Uruguay XXI(ウルグアイのフリーゾーンを含まず。毎月の輸出額、輸出累計額は暫定値)

製造業指数(%)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全体	-7.38	-9.51	-10.87	-11.02	-12.09	-12.11	-12.97
全体(石油精製除く)	1.43	1.75	1.85	2.59	1.91	1.64	0.77
食品・飲料	5.17	4.66	5.36	5.51	4.07	3.15	2.13
繊維製品	-10.37	-13.96	-12.72	-11.37	-9.70	-6.81	-7.33
衣服	-22.69	-15.12	-15.88	-11.86	-10.74	-13.68	-10.02
皮等	-7.66	-3.97	-2.60	-2.19	-3.56	-3.61	-4.44
木材及び関連品	-4.54	-1.54	-1.29	-0.90	-1.45	-1.16	-0.06
紙等	-2.07	4.57	-0.91	0.21	-0.43	0.51	-1.22
製本	-5.76	-11.47	-12.12	-12.60	-12.10	-12.16	-12.44
石油派製品等	-52.64	-65.30	-72.95	-77.50	-80.75	-82.56	-84.41
化学品	5.35	3.56	6.27	7.37	6.13	5.58	4.50
皮・プラスチック製品	-11.39	-14.32	-8.65	-4.82	-1.81	-1.64	-0.40
非金属鉱物	-4.48	-3.50	-5.64	-6.18	-5.92	-5.81	-4.55
礎金属	-3.43	-7.76	-3.97	0.04	0.81	0.48	-3.39
金属・機会・機器	14.79	11.72	6.23	3.55	3.51	-0.03	-0.82
電子機器以外の機械	27.33	15.70	17.80	17.96	16.85	14.48	15.21
電子機器・機械	-17.70	-19.11	-15.04	-16.70	-14.44	-12.60	-11.57
医療機器等	-19.35	-17.81	-11.93	-10.89	-9.30	-8.15	-5.54
自動車等	71.49	72.79	90.17	141.81	139.87	158.49	169.67
その他輸送機器	36.51	52.94	36.49	46.43	31.39	33.89	26.92
家具等	4.58	6.00	6.88	4.79	3.23	3.34	1.17

出所：国家統計院(INE)

(了)